



平成 20 年 9 月 24 日

各 位

会社名 本多通信工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮崎 博巳
(コード番号 6826 東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 堀井 達男
(TEL 03-3714-1151)

松下電工株式会社との業務提携について

当社と松下電工株式会社(以下、松下電工)は、本年4月の資本業務提携に基づき、開発、製造、営業面などバリューチェーン全体で、“分担”、“融合”、“統合”をキーワードに業務提携を推進します。

両社は、“HoP to the Delight お客様に感動いただけるコネクタづくりへ離陸します”を共同スローガンとし、当社がコネクタメーカーとして培った専門力と、制御機器総合メーカーである松下電工のグローバル展開力を組み合わせ、顧客満足度の高い製品やサービスを創出します。携帯電話分野、産業機器分野、光通信分野を“深耕3分野”として一層強化するとともに、新エネルギー分野、デジタル家電分野、車載分野を“創出3分野”として新たな価値づくりに注力し、これら6つの分野で特長ある製品を提供するコネクタメーカーを目指します。

開発面では両社技術の“融合”を進めます。具体例としては、当社が開発した太陽光発電用コネクタに松下電工が得意とする信頼性評価技術を融合させ、世界で最も安全・安心・便利な製品へ進化を図ります。また、松下電工の主力製品である狭ピッチコネクタに、当社の持つ極細線同軸コネクタのノウハウなどを組み合わせ、携帯電話への提案の幅を広げます。

製造面では“分担”をキーワードにQCD^{※1}の最強化を狙います。松下電工が培った自動化・高効率生産と、当社の多品種少量生産の得意技を活かし、大ロットから小ロットまであらゆる生産ボリュームで最適なパフォーマンスを発揮できる“三段構えの製造体制”を構築します。

営業面では、お客様に松下電工と当社の製品とソリューションを一括してお届けできる体制、つまりワン・ウィンドウ体制を構築します。2009年中に両社の海外販売機能を一体化し、海外販売の拡大を進めるなど、“統合”を基軸に提携の具体的な展開を図ります。

なお、9月30日より幕張メッセにて開催される「CEATEC JAPAN 2008」において両社は隣接出展します。

※1 Quality Cost Delivery の略

以上